

る可く偶々米國が時局中擴増す可きを以て本邦船舶の如き當分の船噸數極めて多數なるものは繁忙を極むるものと見て差支へる等の船腹は高價を兵仗其他物資なかるべし(東京特電)

公使に附す事なれるが同事業は、
關東都督府に向ふ四年間六分
たのであるから弱つてゐた

東のこはれた爲である、對敵決心
 の鈍つた故である、衆國一致の實
 力を失つたからである、戰爭云々
 紹げ
 結び
 違ひ

休戦と紐
 休戦の間に迫れる事實
 報章のため市

四ノ入官
 平和は目
 貴なる如きも
 特殊の警
 衛星多数迎へたり
 市川中將内山少將田中経理部長以下
 下司令官部師團司令官部駐留諸隊の
 何にあらざる
 注目すべく
 其大變化に

横濱 七

銀
行
銀
行
同
天
正
隆
銀
行
奉
天
支
店

[illegible]

獨帝の印象

我々に対する態度の寛大なる
皇子に対する態度の寛大なる
皇子に対する態度の寛大なる

工藤武城氏談

獨帝の印象は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。獨帝の印象は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。獨帝の印象は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

御慶事御治定に就

國分王職大官談
一月二十日、皇太子殿下の御慶事御治定に就いて、國分王職大官が記者に談話した。皇太子殿下の御慶事御治定は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

最近のチタ

黒い赤松の
林の静けさ
雪の静けさ
雪の静けさ

休戦祝賀

東京市の
休戦祝賀
東京市の休戦祝賀は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

獨帝自身の

獨帝自身の
獨帝自身の印象は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

獨帝の捕虜

長春で捕虜
獨帝の捕虜は、長春で捕虜にされた。獨帝の捕虜は、長春で捕虜にされた。

馬に共に

凱旋
馬に共に凱旋
馬に共に凱旋は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

信州大地震

原因は
信州大地震の原因は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

獨皇太子統殺説

獨皇太子統殺説
獨皇太子統殺説は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

獨皇太子統殺説

獨皇太子統殺説
獨皇太子統殺説は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

獨皇太子統殺説

獨皇太子統殺説
獨皇太子統殺説は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。



官邸の東條武官

官邸の東條武官
官邸の東條武官は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

獨皇太子統殺説

獨皇太子統殺説
獨皇太子統殺説は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

獨皇太子統殺説

獨皇太子統殺説
獨皇太子統殺説は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

獨皇太子統殺説

獨皇太子統殺説
獨皇太子統殺説は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

獨皇太子統殺説

獨皇太子統殺説
獨皇太子統殺説は、我々日本人にとりて、極めて重要なものである。

演藝案内

本町三丁目 文楽座
本町三丁目 文楽座
本町三丁目 文楽座

有樂館

有樂館
有樂館
有樂館

花柳

花柳
花柳
花柳

花柳

花柳
花柳
花柳

花柳

花柳
花柳
花柳

花柳

花柳
花柳
花柳

花柳

花柳
花柳
花柳

花柳

花柳
花柳
花柳

百圓

百圓
百圓
百圓

百圓

百圓
百圓
百圓

百圓

百圓
百圓
百圓

百圓

百圓
百圓
百圓

百圓

百圓
百圓
百圓

百圓

百圓
百圓
百圓

百圓

百圓
百圓
百圓

百圓

百圓
百圓
百圓

◇聯合國對獨逸 休戰條約全文

第一條 西部戰場に關するもの

第五條 海上條欵

二十、海に於て釣針を垂る即ち止る爲に體船の所在を斷は正に之に通ず可し噸入側巨艦商船、中立國領水に立入るも「噸入」に關し問題惹起せる可き旨を中立國に通知し可し
二十一、噸入側體船にして停泊せしなり現に逃避の鹽澤下に在るは交換條件に據らず噸入之れを容許す可し

○獨代表者の驚愕
オツシ^ヲ將^ヲ兵^ヲ兵^ヲ關係を保てる、獨^ヲ代表者は休戰條件を見るに驚愕したるも遂に運命に順從するに至りしと云ふ

○前獨帝抑留せらる

[illegible]

◆大本營メツツ移轉
オツシユ將軍の大本營は十日以内にメツツに移るべし
◆獨共和基礎聲明

其の被害者社
 各親も大々上
 を貸し止る
 付差れ乍ら朝野の死
 貸引上を貸
 むる事さなれる
 なり若し夫れ
 罪状かに平時
 復讐に親交
 問ふならぬ
 國賊に

◆ 奧條約不履行

●**軍事觀察團歸其**滿
支那青島軍事觀察團は十三日
其の管なりしも途中旅程變更せし

◇獨軍撤退開始

營を離し朝鮮植産銀行に入る

三 併矢吹省二氏 十四日午後七時二十五分著列車にて安東より入京朝鮮ホテル

◇松侯病む

◇齋藤中將歡迎

京駐在武官陸軍中將齋藤

▲東恩太郎氏、同調査所員、同上
▲中野精美氏(三菱製薬社員、同上

◆南北妥協實現乎

過ぎなかつたことは全く驚嘆に値する。▲當日瑞典公使が國務卿ラン

を解決する以外に支那將來の國礎を確立

れ更に印機に附されて二三の控へを取り▲夫が型の如き形を整へて瑞典公使の許に交附

るに至るは斯く支那南北安協氏は元來中間的地位にあるに變じ來りたるは日本の態度に安協には率先して當統一方針にあるを瞭解するに至す來十二月初旬より

文は直ちに瑞典公使の自動車
後を追うた譯である▲米國の對
態度は屢々氏の演説によりて

朝鮮郵船運

の同僚多助に傳三十二分は自筆の
外交史上の記録破りだ云ふ ▲
那は廣いすけあつて大分珍談がも

遞信當局談

鮮郵船會社にては十二月一日よ
貨物運賃の引上げを行ふ事とな
思惟し居れり

下の所考慮を加ふべき餘餘

▲**横斷航路** 日本海

東村に云ふがある而して其處に
軒の見すほろしい茶屋がある

沿岸航路に付通商條約の議を聞くに如左
貨物運賃は認可率の範圍内に於て
の約三割方引上げを認むる

お客のない時には終日せつせき百
姓して居ることは驚く

◇獨紙對時局要求

◆ 獨特別復員局 設置

◆中歐同盟人救濟

●輕鐵時間變更

仁川期米

仁川米豆取引

母よ

忘れません

愛児のために

カゼにはノドをととのへる

森ミルク
永キヤラブル

製森 永水
會株 社式

仁川米

先限一兩廿六圓八十錢七十九錢
八錢七錢五錢六錢七錢八錢五錢三
錢四錢五錢六錢五錢四錢五錢六錢

仁川米豆取引

午後五時十五分前頭午後二
分▲大島線午後七時五十分西
▲大島線午後七時五十分西

四月一日一月

7-31

[illegible]

東京市麹町區有樂町一丁目一番地

東洋拓殖株式會社

拾壹月

追テ右領收證裏面ヘハ當會社へ御提出
ノ印章押捺ノ事

本會社は朝野支那露國等にて信託業を營み因テ東洋に於ける信託業者たるの生命を以て創りけり望まれざる不和株として前途頗る有望なる會社なれば一起に於て向ふ三ヶ月間一割以上の配當保證したる可以は既に以上を食せず

東洋紳商の發起に係る東洋信託株式會社

金拾五圓均一(第一回上二回五分)申込單位 拾株以上

申込切期日 十一月二十日

申込證據金 一株ニ付金五圓

送達方法 先爲順に荷役轉又は代金引替郵便にて送達す

金拾五圓均一(第一回上二回五分)申込單位 拾株以上

申込切期日 十一月二十日

申込證據金 一株ニ付金五圓

送達方法 先爲順に荷役轉又は代金引替郵便にて送達す

提安賣出

早い勝ち

五百株限

割安賣出し

▲年内秋口に配當保證付

提供價格 一株に付 金拾五圓均一(第一回上二回五分)申込單位 拾株以上

申込切期日 十一月二十日

申込證據金 一株ニ付金五圓

送達方法 先爲順に荷役轉又は代金引替郵便にて送達す

白鶴

愛飲家各位に敬告

近來粗惡なる他の清酒を「白鶴」印と稱して販賣する者往々有之候に付弊社は愛飲各位の心安心と御満足を得んが爲茲に元請登升場諸酒各特約店に托し破格の直段を以て販賣仕候間不變御愛顧願上候

拾壹月中迄京仁地方實價

白鶴印一升購入壹本 金壹圓卅五錢

釀造元 嘉納合名會社

内外科皮膚科

小兒科花柳病島崎病院

本院通り左に入る
京城旭町一丁目
夜間診察九時迄 電話二七三六番
入院隨意 院長 正六位卿西等功五郎 島崎龍一

カスミ網

高き六尺二寸幅一丈
廣き三尺四寸幅一丈
掛箱五脚四脚
電話三二四番
振替京城三三番

白粉の補助化粧料三種

洗顔を化粧下が整つて居ると居ないが、化粧の美醜を定むる分岐点!!!
優良化粧下の選擇が必要!!!



（一）美顔クリームの用法
（二）化粧下
（三）化粧料

美顔クリーム

▲皆様の御氣に召されて日々に好評なる新品美顔クリームは素と美顔粉と共に、或る貴族の御係から、御内意を蒙つて創製された品であります。色の白事と、質の軽い事とはこの新しいクリームの二つの特色であつて、舶來品にも勝ると言はれる點であります。それに普通のクリームには多少ネバリ氣があるものですが、原料から違つて美顔クリームには殆どネバリ氣が無く、さらさらとして附けた後の氣持のよいことホントに理想のクリームではこんなものかとお思ひになります。それに配合の妙を極めた芳香は、百花の園に遊ぶが如き思ひあらしめです。ですから従来クリームをお用ひになつてゐる方であれば、一度お使いになつても、成績は良いクリームである、ハッキリお分りになります。

美顔洗粉

御内意により創製したる



大正四年五月上旬、或る貴族の御係から、佛蘭西製の或る洗粉とクリームとの見本を渡され、これに劣らぬ優秀なる品質の二品を桃谷研究所に於て調製進呈せよとの有難き御内意が傳へられました。當試験所にては此上なき光榮に感激し、技術一同行に精進に研究を積み重ねて

七月下旬を以て創製品を上納致しました。二品とも品質の極めて優秀なる事を認めさせられ、御命を拜して居りました。其二品の中の洗粉を、先頃來廣く世に發賣する事にしましたのが此の美顔洗粉であります。斯ういふ品ですから一度美顔を洗つて御用になるにたがひは、必ず其品質効用に御満足され、引き続き愛用せられますので、此の洗粉は今大變な人気になつて居ります。

美顔ユーマー

第一回の使用

ユーマーを唯の一度お用ひにしたら、氣持の好さは何と申されせん。ユーマーのこの作用は、ごなたにもよく分り、そしてお氣に召されます。

二回三回四回

度重なるにつれユーマーは、皮膚が軟やかに肌理が整ひ、いつ見ても見るから氣持のよい、鮮やかに美しい顔色は、誠に美しさの頂上まで御座います。

化粧下と荒れ止

この外にも、ユーマーが化粧下として此上なく好い事及び荒れを防ぐ効用と、日焼けを防ぐ効用の優れてゐる事はお用ひになつた方々の御承知の事で御座います。ユーマーはこれで一層重寶なものとなつて居ります。

桃谷研究所創製

と色顔美の色薇薔



（一）美顔ユーマーを常用すれば、皮膚の養分と美容料との作用により
（二）顔色が紅潤になり、美しさが増します。
（三）皮膚が軟やかに肌理が整ひ、いつ見ても見るから氣持のよい、鮮やかに美しい顔色は、誠に美しさの頂上まで御座います。
（四）化粧下として此上なく好い事及び荒れを防ぐ効用と、日焼けを防ぐ効用の優れてゐる事はお用ひになつた方々の御承知の事で御座います。
（五）ユーマーはこれで一層重寶なものとなつて居ります。

トッポ本邦... 桃谷研究所創製... 下野時米...

元々藝者といふ可笑しな制度が
外國なる日本に於て公許され

波多野敬直子

近來時間動行の勢が著しくなつて漸次果實を結つた。あるは春はしに事であるが日本木の樹にして未だ大部分の落葉には定期に全部の餌が揃ふことは珍らしい。これは止むを得ない事によるものないではないが葉が三へば三十分や一時間には遅れてしまい、春遅れて行くべきものだ。心づけて居る人も少なくない。然である、能つて摘む者とか摘すとか勞を要する人は、幾ぶ此時間を居ては、閉居の時に盡す通知する。例へば正直に定期に摘した者は非常に感謝を蒙る事になる。此の條は日本風の落葉には特に現れ、忙しい世の中に誠に奇怪な現象である。

これは従来の慣習が編して居るの

である。之を打破するには宴會は必ず定期に施るべきこととしたらよいと思ふ。然れども此の宴會にもあるであらうが何處の宴會でも全部の人が續々酒席に依はらず必ず定期には閉會するものといふのが出て来ればそれは遂には各人が定期に宴會する體になつては決して難事ではない

それから從來の宴會には閉會時間の定めは少く開會の時分を定めてゐたのは少く閉會で宴會半ばで勝手に席を立つ歸去中には何時までも門を卷きながら中にもある人の自由を餘り縛過ぎてよくないが多數の宴會である以上其會の目的によつて閉會の時間を豫め定めて置くことも必要ではあるまいか、さすれば中途で席を立つ人もまた又何時まで一餐を推くとも自然出来なくなつて來て同時に時間も偷減せざるやと出來て會合の目的に叶へずであらうと思ふ第二に敬告がある

酒を飲むから酔ひ倒れて騒ぐ大の宴會になら。折廻敬告をする人は藝者を見るが如く得られる會は藝者を所為の目的でなれるが費用は奢つて結果は最好で海三に酒である

酒を飲むのみ多年世界のの問題ではない。餘計上經濟上國家又國家の政事から兒孫に可成害する虞生ねばならぬに宴會で飲まねばならぬ能く書である、飲めない人も能く、樂陶陶等三式は嘲笑ふことである

宴會が起つてあれだけなかつた人々欲める様々な、飲めば不愉快なことをする嗜癖をもたせるは酒禁である。宴會には酒禁はなし。宴會する者は酒禁不能得て又酒は社交の必需品でこれのために酒禁は斷つていへない多量に飲めば多量に吐いて友人があるかも知れぬが決して

懸賞一口啣當選

「さへ何方が遠かんべいかの？」
援作「お日様は、私さへ好むわ」

へを指す時に同じ、他の適當の
 表現を求めることが、來れる科
 屋以外の、最も適用することに
 した、又同じ科屋にしも時
 季によつて花さか月、が、然る風
 情を變へ得る處所を選んて、實の
 情趣を添へることにした、これは
 今後都人士の爲めには、往々必要と
 思ふ。

第五は料理である。
 宴會の料理は大體料理屋に在るは
 が普通で、獨り何程か、だつて他は
 顧みないのが多い、種から通一
 律、餘り上等でもないのを、タ
 ン、並へる、に、なつて居る
 料理は、冷て居るし口に、味も、
 はたんの、品、三、位、で、それを、所、に
 した、から、充分の注意を拂ふことにした

感後、今一つ感した事を附言、だ
 け、日本の宴會は、大々進を、加へ
 ることは補て、るが、今の、地質の、
 限りは、大々、出、せ、るやうに
 した、好い、と思ふ、これは、來、る、
 一同に、感、な、感、を、抱、ける、こ、同
 時に、來、會、者、自、己、の、眼、を、敵、に、對、
 するの、に、興、つ、大、い、に、加、あ、ら、
 の、である、殊、單、に、人、を、招、ける、
 宴會には、大體、感、は、好い、が、大體
 の、會には、大々、同、で、支、費、ない、もの、
 である、こ、は、多、の、考、證、を、經、る、す
 迄、な、い、明、ら、か、である、
 以上、宴會、の、改、正、に、關、する、愚見、の、
 大體、を、述、べ、た、成、は、少、し、過、敏、と、
 思、ふ、

野田卯太郎氏筆

人達は二時にも三時にも禪して御馳ぎを拜聴してゐるが酒を廢するに同時に料理に注意を加へる様にしたい云云つても別に琥珀の成金衆の描態を學べ

こは云はぬ形式に流れた料理を排斥するのである御査照一紙の料理を任せば參會の多くは満足を興へる物ではない右に述べた處を實行したる發奮は驚異しいものではない

に参へる、他の趣向によつて好い結果を得るのみならず更に優

其趣向は會會の種類により又應

ふ非難があるかも知れない然し世は進む日々々に漸々に進むは何時迄も舊態を廢して徒らに暇を費つて居てはいけな

の困難は覺悟して悪いものは夫れから夫れへと漸らず改めて行かね

紹づ止まざる世進の

主人女中に向ひ「朝粥喰ひたか明日から外國米を炊きなさい女中でも日服條外浦米を食まミ國産穀類に違反します」

選外秀逸

京城 八坂多美子

母坊やは今度の選顯會に何故んなにぐつゝしたの坊餘いでは事をしそじる云云つて

前出町 天 平

問「昨内閣を世間では政黨内閣稱して居ますがそのうちあります客いや昨内閣は青銅内閣ではりません白銅内閣であります

京城 廣池 君子

「盲目が女房の發進を聞いて」

微長御査照「君の職はなにか」

百姓の伴「ハハ夢前殿でりま

京城 春 泉

號千四祝
資易部
海運部
合資
會社
富來洋行
大連市大町通三六、三七、三九號地

祝四千號

製鹽及農事經營
滿洲特產物賣買及仲介
米穀雜穀販賣
金銀兩替及其交換
各種商品委托賣買

旅順市

滿洲殖產株式會社旅順支店

電話四三二番

大連市

滿洲殖產株式會社

電話 總機 二七四
一八七五

